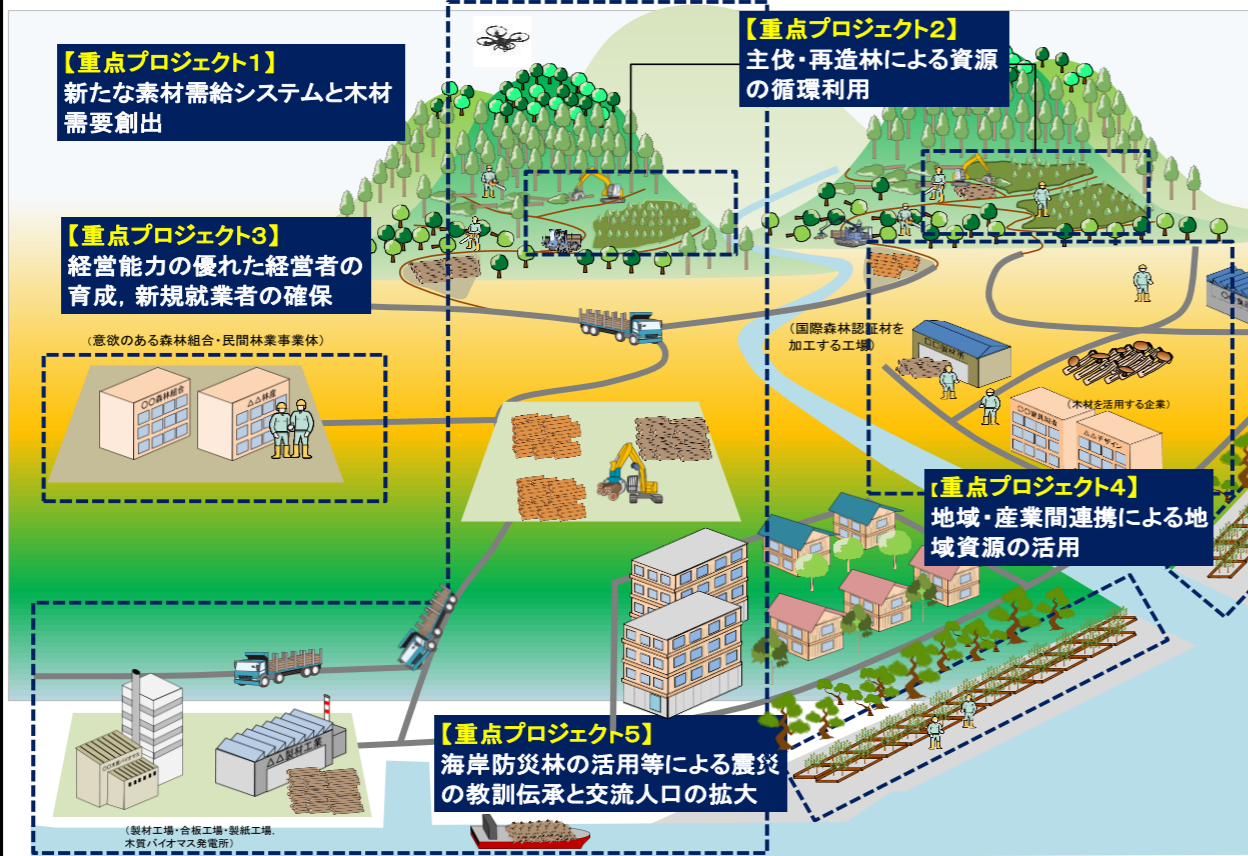


県では、4つの政策推進の基本方向に沿ってこの10年間で各種施策を展開していく中で、特に力を入れる取組を「重点プロジェクト」として5つ設定しています。

5つの重点プロジェクト



プロジェクト1 新たな素材需給システムと木材需要創出

- 川上側の賦存量等の情報を集積し、川下側に迅速かつ正確に情報を提供するためのシステム整備について支援した。
- ICT搭載の高性能林業機械や写真検知システムを活用した現地検討会を実施した。



木材の出荷情報を管理する機器



ICT搭載ハーベスタ

- CLTのトータルコスト低減と需要拡大に向けて、CLTユニットの開発や実証の取組を支援した。

- 低コストで生産可能な新たな木質建材である「超厚合板」や「2×4パネル(DLT)」の開発を支援した。

- 中高層建築物等への木材利用の拡大を図るため、木造建築に関する技術者育成の取組などを支援した。



CLTを使った休憩所



施工技術者の育成講習会



CLT製品の強度試験



CLTの住宅分野での活用

プロジェクト2 主伐・再造林による資源の循環利用

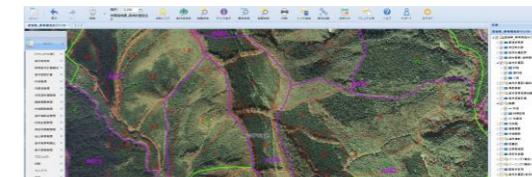
- 再造林を推進するため、造林経費に対する補助を行うとともに、低コストな再造林を進めるため、提案型の低コスト再造林の実践を支援した。
- 森林施業の集約化に向け、林地台帳や空中写真を用いた森林情報の適正化や、市町村等との情報共有の強化を図るためのクラウドシステムの導入を実施した。



一貫作業現場の状況



成長に優れた造林樹種等の導入



クラウドシステムの画面

プロジェクト3 経営能力の優れた経営者の育成、新規就業者の確保

- 人材の確保育成や就業環境の向上に向けた取組を推進するため、産業会・地域の団体・行政などの連携・協同による「みやぎ森林・林業未来創造機構」を設立するとともに、「みやぎ森林・林業未来創造カレッジ」の取組をスタートした。



みやぎ森林・林業未来創造機構設立総会



みやぎ森林・林業未来創造カレッジ 先行講座(ドローンによる森林調査研修)

プロジェクト4 地域・産業間連携による地域資源の活用

- 地域資源であるコナラ等の有用広葉樹を使い、家具製作事業体と伝統工芸職人グループが連携した製品づくりなどを支援した。
- 各種イベントにおいて、森林認証材のPRを行った。



森林認証材を使った広葉樹製品(椅子・トレイ)



首都圏での森林認証材 使用家具等のPR活動

プロジェクト5 海岸防災林の活用等による震災の教訓伝承と交流人口の拡大

- 令和3年3月に「みやぎ海岸林再生みんなの森づくり活動」協定団体及び関係市町等で構成する協議会を設立した。
- みやぎグリーンコーストプロジェクトの取組を開始し、海岸防災林のバスツアーやみやぎ海岸防災林対話会などを開催し、震災の教訓伝承と交流人口の拡大に取り組んだ。
- 植栽や下刈り等を行う団体の技術指導を行い、育樹活動を支援した。



みやぎ海岸防災林対話会



海岸防災林での下刈り作業



みやぎの海岸防災林ガイドマップ